

16年7月1日

第2回「友」地区だより：「7月号報告」

いよいよ新年度がはじまりました。「友」7月号の一部を紹介いたします。

1.是非お目通し頂きたい記事

「ヨコ組み」

1ページ

新しく就任された渡辺「友」委員長の挨拶です。

「ヨコ組み記事に学び、タテ組み記事に実践参画しましょう」と呼びかけています。

6～24”

新しいグレン・エステスR I会長の方針と考え方です。

6ページのメッセージ（新しい目標と挑戦を）、18ページ（ロータリーを祝おう）、22ページ（強調される4つの奉仕）は、自分の考え方をまとめる上で、ぜひ読んで置きたいと思います。

50”

2640地区2度目の中島ガバナーのご紹介です。

18年前の名コンビ代表幹事・小島PDGは「クラブが事を進める。地区はそれをサポートする」ことに徹底されるだろうと明言しています。

中島DG自身も、「ロータリーとは一体何なのか？」「ロータリーの例会はいかにあるべきか？」というような基本的事項に関して、クラブ内で活発で前向きな議論の展開から始めなければならない。この中から答えを出し、存在感のある、意義あるクラブ運営がなされるようになって、クラブの活性化も本物になる」という信念を披瀝されています。（いよいよ面白く、チャレンジングな1年が始まります）

「タテ組み」

P 4

佐藤千寿PDGが、「ロータリーの原点」と題し話された講演録です。氏は「人と人との間柄を、いかに美しく楽しくするか。そこから出発しない限り百の説法も空鉄砲」と言い切ります。そしてその人間のもつ欲望に手綱をつける

いわゆる「欲望の自己制御」が、ロータリーの精神的原点
と言い、お遍路さんのように汚れのない白衣を「心」につ
けましようと言われました。

ラタクル元会長の言を借りつつ、職業奉仕・職業人の行動
を痛烈に反省し、原点への回帰を提唱されております。

2.2640地区メンバーの提供した記事

「タテ組み」

- P 10 岸和田東 柳沢 宗子氏 「老人保護施設へ音楽訪問」
高校生、老人施設、ロータリークラブ、三者の見事な連携
で、機動的な活動ぶりが目にうかぶ記事です。
- p 17 堺 伊藤 篤風 氏 「柳 壇」
ニヤリと頬がゆるむ川柳です。2640地区は俳・柳壇の
常連地区で特に堺周辺が有名です。(楽しませて頂きます)
- p 19 堺青陵 渭東 祥晃 氏 「青少年を対象に15周年行事」
「青少年犯罪防止の自転車パネル2000枚」「街角植樹」
「インドネシア奨学金」「心身障害児の為おぎゃー献金基金」
・・・と記念に残る行事はまさに歴史を作ることでしょう。

以 上